学校だより
中山小
中山小学校は創立131年目を迎えました
”夢をかたちにこころひとつに大好き中山っ子”
横浜市立中山小学校
令和５年　６月２７日　発行
７月号
学校教育目標：豊かなかかわりの中で「生きる力」を身につけます

中山小学校の教育活動が順調に進んでいます

校長　吉田　茂樹

新年度が始まって３か月近くが経ち、早いもので夏休みまで３週間余りとなりました。

現在、中山小は、新型コロナウィルス等感染症は落ち着いていますが、区内小学校では、インフルエンザが流行して学級閉鎖になったり、感染性胃腸炎が増えたりしているところもあります。コロナ禍での生活で、免疫力や体力が落ちているケースが多く見られます。手洗い・うがいなど基本的な感染対策、適切な運動による体力向上が大切です。また、体調不良のときは、無理な登校はお控えください。７月は、特に４～６年生は、宿泊を伴う校外学習がありますので、暑いからと、部屋の涼しい場所でばかり過ごしていると、汗をかく機能が衰え、熱中症にもなりやすくなります。熱中症指数に応じて、水分補給、休憩など対策を講じながら、健康維持と体力増進に御留意いただければと思います。

さて、新年度開始より、４月の授業参観・懇談会、個人面談、６月の土曜参観、音楽発表集会（６月は６年）と保護者の皆様に学校・児童の活動の様子を見ていただく機会が増えて良かったです。土曜参観では、対話的な学び、タブレットの活用、専科の授業などいろいろな学びの場面を見ていただきました。御協力ありがとうございます。

また、１９日からは、４年ぶりに全学年で水泳学習が再開できました。小学校で初めての水泳になる学年も多く、水慣れをしっかり行い、中・高学年の泳ぐ練習では、泳力に応じたグループ学習を行うなど、安全・安心に取り組めるよう配慮しています。子どもたちからも「気持ちよかった。」「最高だった。」と喜びの声が多く聞かれました。クラブ活動も初めての４年生も含め、コロナの制限のない活動ができ、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。本校で大切にしている「全校たてわり活動」での異学年交流も全校遠足だけではなく、年間を通して定期的に行っており、高学年のリーダーシップのもと、交流が深まってきています。６年生は、早くも卒業アルバムの写真撮りや日光修学旅行に向けた準備が進み、「卒業」を意識した活動場面が出てきています。

地域に目を向けますと、５月２８日に行われた「スポーツフェスティバル」では、７００名を超える参加者があり、子どもも大人も大いに盛り上がっていました。６月１０日の土曜参観日の午後には、中山中学校ブロック学校・家庭・地域連携協議会の活動の一環である「地区懇談会」が本校で開催されました。「あいさつのある街　つながる街　なかやま」をテーマに、児童・生徒代表、教職員、保護者、地域・関係団体の代表者の皆様が集まって、テーマについて全体会や自治会ごとの分科会で話し合いました。あいさつの重要性、課題、今後の取組について貴重な意見交換が行われました。本校の代表の子どもたちも取組の発表をチームワーク良く、とても上手に行っていました。お互いに顔の見える関係、人と人とのつながりがまちの活性化、防犯・防災での連携にもつながってくると改めて感じました。

今後とも「じぶんがすき、ともだちがすき、中山がすき」を目指して取り組んでいきたいと思います。引き続き、保護者・地域の皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。